

クリケット

教科・場面

B 班 体育

授業・実践のねらい

- ・ルールを理解する。
- ・体を動かす楽しさを味わう。

対象の児童・生徒

- ・高等部 B 班の生徒 8名
- 学習到達度スコア
- 【聞くこと】60~18
- 【話すこと】60~12

独歩・車いすなど移動手段は様々。

運動能力も様々。

教師の言葉かけには応じることができる。

自分の意思を相手に伝えることができる。

主体的に動くことができる生徒もいる。

教材・教具

体育準備室

ティー台・ボール
斜面台・バットなど



工夫したところ

- ・毎時間、実技をしながらのルール確認。
- ・生徒にあった道具、補助具の使用。
- ・T.T との事前共有をする。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・ルールを説明するときには注目させ、実技を見せる。生徒に実際にさせる。
- ・各生徒のスイングの軌道に合わせて T 台の高さをセットする。
- ・本人がスイングしやすい方法を探る。
- ・教員の介助はできるだけ少なく、生徒が主体的に動くまで待つ。
- ・T 台のボールを意識できるように言葉かけする。
- ・守備では転がるボールを意識できるように近くに教師がつき場所を指さしなどで教える。
- ・良いプレーが出たときにはなどは、T.T を含め教師全員でほめる。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・ルールがわからずに動いていた生徒もルールを理解し、打ったあと捕球のあとはコーンへ走りタッチすることが定着した。
- ・得点やアウトにできたときに生徒自身が喜びや悔しさを表出できるようになった。